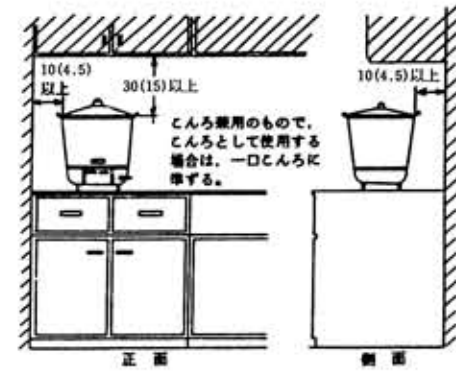
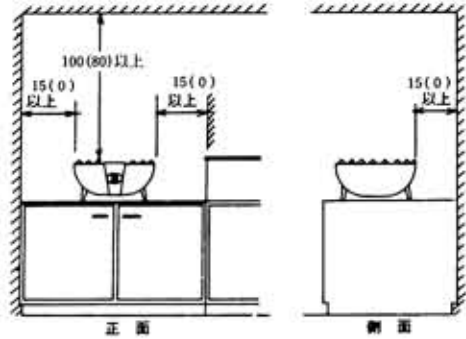


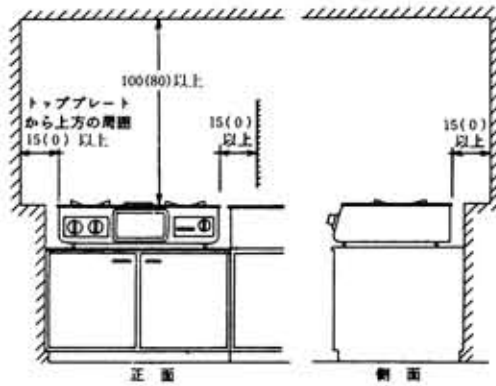
移動式ストーブ	開放式	前方放射型 (入力6,000キロカロリー毎時以下)	100	30	100	4.5	80	15	80	4.5	
		全周放射型 (入力6,000キロカロリー毎時以下)	100	100	100	100	80	80	80	80	
		自然対流型 (入力6,000キロカロリー毎時以下)	100	4.5	4.5(注5)	4.5	80	4.5	4.5(注5)	4.5	
		強制対流型 (入力6,000キロカロリー毎時以下)	4.5	4.5	60	4.5	4.5	4.5	60	4.5	
調理器具	開放式	卓上型こんろ(1口) (入力3,600キロカロリー毎時以下)	100	15	15	15	80	0	(注1)	0	
		卓上型こんろ(2口以上) 卓上型グリル付こんろ	100	15(注1)	15	15(注1)	80	0	(注1)	0	
		卓上型グリル(入力6,000キロカロリー毎時以下)	100	15	15	15	80	0	(注1)	0	
	器具式	加熱部が開放されているもの	フードを付けない場合 (オープンは入力5,000キロカロリー毎時以下 グリルは入力6,000キロカロリー毎時以下)	50	4.5	4.5	4.5	30	4.5	(注1)	4.5
		加熱部が隠れているもの	フードを付ける場合 (オープンは入力5,000キロカロリー毎時以下 グリルは入力6,000キロカロリー毎時以下)	15	4.5	4.5	4.5	10	4.5	(注1)	4.5
		炊飯器	炊飯容量4ℓ未満のもの (入力4,000キロカロリー毎時以下)	30	10	10	10	15	4.5	(注1)	4.5
圧力調理器具	炊飯容量4ℓ以上のもの (入力4,000キロカロリー毎時以下)	30	15	15	15	15	4.5	(注1)	4.5		
	内容積 10リットル以下	30	10	10	10	15	4.5	(注1)	4.5		



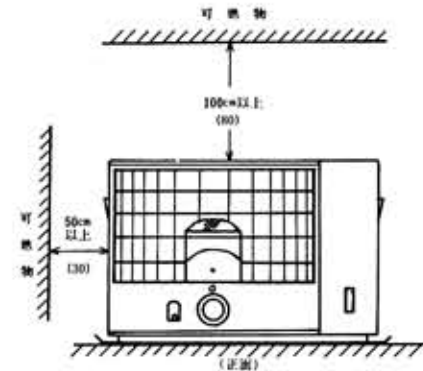
◎炊飯器および圧力調整器
(1) 4ℓ未満の場合



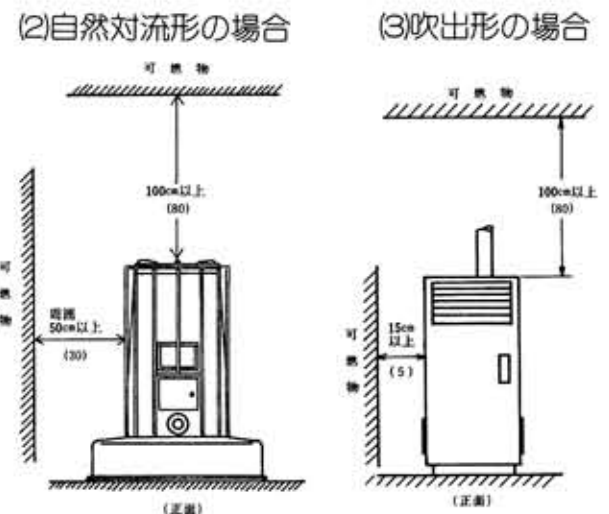
◎ガスこんろ
(1) 一口こんろの場合



(2) グリル付こんろの場合



◎石油ストーブ
(1) 放射形の場合



石油燃焼機器の設置基準表

A表の注	(注1) 機器本体上方の側方または後方の離隔距離を示す。
	(注2) 煙突を設置するため離隔距離を定めない。
B表の注	(注3) 浴槽との離隔距離は0以上とするが、合成樹脂浴槽(ポリプロピレン浴槽等)の場合2センチメートル以上とする。
	(注4) 機器の構造および使用実態から離隔距離を定めない。
	(注5) 熱対流方向が1方向に集中する場合は60センチメートル以上とする。
備考 前方の離隔距離にあつては、操作上必要な保有距離をとること。	

種類	A表 不燃材料以外の仕上げ				B表 不燃材料仕上げ					
	距離(単位センチメートル)				距離(単位センチメートル)					
	上方	側方	前方	後方	上方	側方	前方	後方		
ふろがま (入力33,000キロカロリー毎時以下)	60	15	15	15	50	5	(注)	5		
暖房機	温風を前方向に吹き出すもの (入力22,000キロカロリー毎時以下)	100	15	150	15	80	5	(注)	5	
	温風を前方向に吹き出すもの (入力22,000キロカロリー毎時を超え60,000キロカロリー毎時以下)	100	15	100(注)	15	80	5	(注)	5	
	温風を全周方向に吹き出すもの (入力22,000キロカロリー毎時以下)	100	150	150	150	80	150	(注)	150	
	強制排気型 (入力22,000キロカロリー毎時以下)	60	10	100	10	50	5	(注)	5	
ボイラー	(入力10,000キロカロリー毎時以下)	40	4.5	15	4.5	20	1.5	(注)	1.5	
	(入力10,000キロカロリー毎時を超え60,000キロカロリー毎時以下)	60	15	15	15	50	5	(注)	5	
ストーブ	機器の全周から熱を放散するもの (入力33,000キロカロリー毎時以下)	150	100	100	100	120	100	(注)	100	
	機器の上方・前方に熱を放散するもの (入力33,000キロカロリー毎時以下)	150	15	100	15	120	5	(注)	5	
簡易湯沸設備 (入力10,000キロカロリー毎時以下)	40	4.5	15	4.5	20	1.5	(注)	1.5		
給湯湯沸設備 (入力10,000キロカロリー毎時を超え60,000キロカロリー毎時以下)	60	15	15	15	50	5	(注)	5		
移動式ストーブ	放射型 (入力6,180キロカロリー毎時以下)	100	50	100	20	80	30	(注)	5	
	自然対流型 (入力6,180キロカロリー毎時以下)	100	50	50	50	80	30	(注)	30	
	自然対流型 (入力6,180キロカロリー毎時を超え10,000キロカロリー毎時以下)	150	100	100	100	120	100	(注)	100	
	強制対流型	温風を前方向に吹き出すもの (入力10,000キロカロリー毎時以下)	100	15	100	15	80	5	(注)	5
		温風を全周方向に吹き出すもの (入力6,180キロカロリー毎時以下)	100	100	100	100	80	100	(注)	100
		温風を全周方向に吹き出すもの (入力6,180キロカロリー毎時を超え10,000キロカロリー毎時以下)	100	150	150	150	80	150	(注)	150
移動式こんろ (入力5,150キロカロリー毎時以下)	100	15	15	15	80	0	(注)	0		

A表の注	(注) 風道を使用するものにあつては15センチメートル以上とする。
	備考 前方の離隔距離にあつては、操作上必要な保有距離をとること。
B表の注	(注) 通常の使用状態で防熱板等の設置はあり得ないので定めない。

暑くても防火の点検忘れません!



火の監視を十分に

- 火の使用中はそばをはなれない……
 - 炊事火を使っているとき
 - 風呂をわかしているとき
 - たき火中や作業火を使っているとき
- 〈蚊取り線香は、机の上など安全な場所で〉

消防へのお問い合わせは
☎934-0119

向日市消防本部・消防団